

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.2	BEEランク	B ⁺
建物名称	イリーゼ定山溪Ⅱ号館	総合評価	★★★★★	★★★★★	★★★★★
建物用途	病院				
延床面積	2,287.73 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー ★★★★★	<p>この建物は特に 緑化への取組 が優れています</p>
	省資源等 ★★★★★	
	緑化 ★★★★★	
	雪処理 ★☆☆☆☆	

3 設計上の配慮事項とCASBEEスコア	
A 省エネルギー 合計 16点 / 24点	
Q1 温熱環境	スコア 1.0 LR1 建物外皮の熱負荷抑制
Q1 光・視環境	スコア 1.0 LR1 自然エネルギー利用
	スコア 8.0 LR1 設備システムの高効率化
	スコア 2.0 LR1 効率的運用
B 省資源等 合計 13点 / 23点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0 LR2 非再生性資源の使用量削減
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0 LR2 汚染物質含有材料の使用回避
	スコア 4.0 LR3 地球温暖化への配慮
	スコア 2.0 LR3 地域環境への配慮
C 緑化 合計 11点 / 16点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 3.0 LR3 地域環境への配慮
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 6.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0
D 雪処理 合計 0点 / 3点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0 LR3 地域環境への配慮

4 設計上の配慮事項		
A 省エネルギー		
できる限り断熱材を使用し熱損失を防ぎ過暖房にならないように配慮した。		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
可能な再利用できる物を資材として使用し省資源等に配慮した。	建築物の道路側に植物育成のためのスペースをとって芝桜を植栽した。	雪処理を考慮し南側の敷地にスペースを設け雪処理できる状態とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される